

令和7年度 社会福祉関係職員 研修概要

目 次

はじめに	1
令和7年度社会福祉関係職員研修体系表	2
令和7年度社会福祉関係職員研修日程表	3
令和7年度社会福祉関係職員研修計画表	4
研修開催要綱一覧	7
■ キャリアパス研修	7～8
■ キャリアパス構築/運用	9
■ 組織力向上・課題解決	10～12
■ 人材育成	13～15
■ 人材定着	16
■ 専門分野	17～18
研修実施方法	19
申し込みから受講までの流れ	20
受講上の留意事項	21

☞研修に関する最新情報は、本会ホームページで随時更新しております。

<https://www.fukushiniigata.or.jp/kensyuu/kensyuus/>

新潟県社会福祉協議会 社会福祉研修センター

検索



■ はじめに

I 基本方針

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会は、昭和 60 年 4 月に新潟県社会福祉研修センターを開設して以来、40 年にわたり、社会福祉事業従事者などを対象とした各種研修を実施しています。

その間、急速に進行している少子高齢化に伴い、社会福祉を取り巻く状況は大きく変化し、県民の福祉に対するニーズはますます多様化しています。個人の尊厳を保持し、自立を支援し、利用者の視点に立ったサービスの提供が求められており、その担い手である社会福祉事業従事者の高い専門性と豊かな人間性を備えた人材の育成・確保がますます重要になっています。

本研修センターでは、適切で質の高い支援やサービスを提供し、今日の福祉課題に対応できる人材の養成に資するために、関係機関・団体等と緊密な連携を取りながら、社会福祉関係職員研修事業をニーズに適った充実したものにすべく取り組んでおります。

また、昨今の新型コロナウイルス感染症等への対応を踏まえ、従来の集合方式での研修実施に加え、オンラインを活用したライブ配信やオンデマンド配信による研修も織り交ぜながら、より効果的な研修の実施体制を目指しております。

県内の福祉関係職員をはじめ、多くの方々にこの研修概要をご覧いただき、社会福祉関係職員研修事業へのご理解をさらに深めていただき、研修を受講いただければ幸いです。

II 研修目標

- (1) 豊かな人間性と社会福祉従事者としての自覚・使命感の養成
- (2) 倫理と実践に裏付けられた専門的知識及び技術の向上
- (3) 業務に意欲的に取り組み、問題解決能力を養うための自己開発の促進
- (4) 主体的な研修参加による相互理解の助長及び学習意欲の高揚



III 社会福祉研修センターの概要

- (1) 名 称 社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 社会福祉研修センター
- (2) 所 在 地 〒950-8575 新潟県新潟市中央区上所 2 丁目 2 番 2 号 新潟ユニゾンプラザ 3 階
- (3) ホームページ <https://www.fukushiniigata.or.jp/kensyuu/kensyuuc/>

☞ ご案内：社会福祉法人新潟県社会福祉協議会の会員加入について

新潟県社会福祉協議会は、地域福祉を推進する中核団体として昭和 26 年 3 月に財団法人として創設され、昭和 27 年 7 月 1 日に社会福祉法人として設立されました。県内の公私の社会福祉関係者の参加と協力のもと、「共に生き共につくる福祉社会を目指して」を基本理念に、住民一人ひとりが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりのための活動に取り組んでいます。

会員にご加入いただくと、**本会が主催する研修会への参加費割引**や、新潟県民間社会福祉職員退職積立基金制度への加入ができるほか、県内の福祉の動向などを掲載した本会機関紙「福祉にいがた」をお届けします。

詳しくはホームページをご覧ください。<https://www.fukushiniigata.or.jp/about/pref/>

令和7年度 社会福祉関係職員研修体系表

カテゴリ	研修名	受講対象(目安)			
		新任・若手職員	中堅職員	チームリーダー	管理職員
キャリアパス研修 (全国社会福祉協議会 共通プログラム)	初任者コース				
	中堅職員コース				
	チームリーダーコース				
	管理職員コース				
キャリアパス 構築・運用	キャリアパス構築支援研修				
	キャリアパス運用支援研修				
組織力向上・課題解決	会議ファシリテーション研修				
	気づき力研修				
	チームワーク向上研修				
	より良い職場づくりのための業務改善研修				
	コンフリクトマネジメント研修				
	リーダーシップ研修				
	カスタマーハラスメント対応研修				
人材育成	福祉職の接遇マナー研修(基礎編)				
	相談面接技術研修(基礎編)				
	コミュニケーション力向上研修				
	伝える力研修				
	エルダー研修				
	福祉職のためのトラブル対応研修				
	ティーチング研修				
	リーダーコミュニケーション研修				
	コーチング研修				
人材定着	介護職のためのアンガーマネジメント研修				
	ストレスマネジメント研修				
	モチベーションマネジメント研修				
専門分野	介護記録の書き方研修				
	認知症ケア・対応研修				
	介護職のためのフィジカルアセスメント研修				
	看取りケア研修				
	口腔ケア研修				
	相談援助職のための記録の書き方研修				

(注) 研修日程やプログラム、受講対象等の詳細については、各研修の開催要綱をご確認ください。

※受講対象の目安(キャリアパス研修は除く)

新任・若手職員	業務経験3年以下の職員
中堅職員	業務経験4年以上で、主任・係長等の役職に就いていない中堅職員
チームリーダー	主任・係長等の役職に就いている者またはそれに該当する指導的職員
管理職員	施設長・事務局長等の役職にある者またはそれに該当する運営管理を行う管理職員

令和7年度 社会福祉関係職員研修日程表

オンライ研修

集合研修

※都合により日程等変更する場合がございます。あらかじめご了承ください。

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
5月	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	
6月	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
7月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
8月	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
9月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
10月	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
11月	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
12月	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木

令和7年度 社会福祉関係職員研修 計画表

<新潟県委託研修>

カテゴリ	No.	研修名	受講対象者	実施方法	実施回数	定員	開催日	申込開始日	申込締切日	受講料		
福祉職員 キャリア パス対応 生涯研修 課程	1	初任者コース	新卒入職後3年以内の職員または、他業種から福祉職場へ入職後3年以内の職員	集合研修	3	50	8/18(月) 8/19(火)	5/5(月)	6/2(月)	7,500		
						50	10/22(水) 10/23(木)	7/7(月)	8/4(月)			
						50	11/19(水) 11/20(木)	8/4(月)	9/1(月)			
	2	中堅職員コース	担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員 (入職後概ね3~5年程度の節目の職員)	集合研修	3	50	8/5(火) 8/6(水)	4/21(月)	5/19(月)			
						50	10/16(木) 10/17(金)	6/30(月)	7/28(月)			
						50	11/10(月) 11/11(火)	7/28(月)	8/25(月)			
	3	チームリーダーコース	近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員または現に主任・係長等に就いている職員	集合研修	3	50	9/16(火) 9/17(水)	6/2(月)	6/30(月)			
						50	10/30(木) 10/31(金)	7/14(月)	8/11(月)			
						50	11/25(火) 11/26(水)	8/12(月)	9/8(月)			
	4	管理職員コース	近い将来、管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員または、現に小規模事業管理者・部門管理者等に就いている職員	ライブ配信	1	50	8/27(水) 8/28(木)	5/12(月)	6/9(月)		9,500	
	キャリアパス構築	5	キャリアパス構築支援研修	人事、人材育成、研修計画を担当する担当者または管理者、今後、人材育成業務に携わることが見込まれる方等	集合研修	1	80	11/7(金)	8/18(月)		9/29(月)	3,500
	組織力 向上 課題解決	6	より良い職場づくりのための業務改善研修	職場内において組織をまとめる立場にある職員、または所属長が受講を推薦する職員	集合研修	1	80	7/16(水)	4/28(月)		6/9(月)	
7		カスタマーハラスメント対応研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員(主に入所施設の本部職員・管理者向け)	ライブ配信	1	80	12/4(木)	9/16(火)	10/27(月)			
人材育成	8	福祉職の接遇マナー研修(基礎編)	職務経験3年以下の新任・若手職員、または所属長が受講を推薦する職員	集合研修	2	130	6/17(火) 10/7(火)	4/7(月) 7/22(火)	5/19(月) 9/1(月)			
	9	相談面接技術研修(基礎編)	相談援助業務に従事している職員(3年以下)、または今後相談業務につく予定の職員	集合研修	1	80	9/8(月)	6/23(月)	8/4(月)			
	10	エルダー研修	新人職員の育成・指導を担当している職員、または担当予定の職員	集合研修	1	80	5/27(火)	4/7(月)	5/7(水)			

令和7年度 社会福祉関係職員研修 計画表

<自主研修>

(県社協
会員料金)

カテゴリ	No.	研修名	受講対象者	実施方法	実施回数	定員	開催日	申込開始日	申込締切日	受講料
キャリアパス運用	1	キャリアパス運用支援研修	人事・総務・労務を担当している職員（施設長、事務長、法人本部職員等）	ライブ配信	1	80	12/1(月)	9/16(火)	10/27(月)	7,000 (5,000)
組織力向上 課題解決	2	会議ファシリテーション研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員（主に若手職員～チームリーダー向け）	ライブ配信	1	80	11/17(月)	9/1(月)	10/13(月)	
	3	気づく力研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する中堅職員（職務経験概ね4年以上の職員）	ライブ配信	1	80	9/9(火)	6/23(月)	8/4(月)	
	4	チームワーク向上研修	職場内において組織をまとめる立場にある職員、または所属長が受講を推薦する職員	集合研修	1	80	6/24(火)	4/7(月)	5/19(月)	
	5	コンフリクトマネジメント研修	職場内のミーティング等で進行や取りまとめ役を務めることが多い職員（主に中堅職員～管理職員向け）	集合研修	1	80	9/22(月)	7/7(月)	8/18(月)	
	6	リーダーシップ研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員（主に中堅職員～管理職員向け）	ライブ配信	1	80	9/2(火)	6/16(月)	7/28(月)	
	人材育成	7	コミュニケーション力向上研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員（主に新任・若手職員～中堅職員向け）	集合研修	1	80	6/3(火)	4/7(月)	
8		伝える力研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員	ライブ配信	2	100	10/1(水) 10/15(水)	7/14(月) 7/28(月)	8/25(月) 9/8(月)	
9		福祉職のためのトラブル対応研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員（主に若手職員～中堅職員向け）	ライブ配信	1	80	6/11(水)	4/7(月)	5/12(月)	
10		ティーチング研修	部下の指導・助言・支援を行っている職員、または担当予定の職員	ライブ配信	1	80	9/19(金)	6/30(月)	8/11(月)	
11		リーダーコミュニケーション研修	職場内において組織をまとめる立場にある職員、または所属長が受講を推薦する職員	集合研修	1	80	7/18(金)	4/28(月)	6/9(月)	
12		コーチング研修	部下の指導・助言・支援を行っている職員、または担当予定の職員	集合研修	1	80	9/29(月)	7/14(月)	8/25(月)	

令和7年度 社会福祉関係職員研修 計画表

<自主研修>

(県社協
会員料金)

カテゴリ	No.	研修名	受講対象者	実施方法	実施回数	定員	開催日	申込開始日	申込締切日	受講料
人材定着	13	介護職のためのアンガーマネジメント研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員	ライブ配信	1	80	未定	未定	未定	
	14	ストレスマネジメント研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員	集合研修	1	80	12/12(金)	9/22(月)	11/3(月)	
	15	モチベーションマネジメント研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員(主に中堅職員～管理職員向け)	ライブ配信	1	80	11/13(木)	8/25(月)	10/6(月)	
専門分野	16	介護記録の書き方研修	介護業務に従事している職員、または今後介護業務に就く予定の職員	ライブ配信	1	80	7/2(水)	4/14(月)	5/26(月)	7,000 (5,000)
	17	認知症ケア・対応研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員	集合研修	2	140	7/4(金) 9/26(金)	4/14(月) 7/7(月)	5/26(月) 8/18(月)	
	18	介護職のためのフィジカルアセスメント研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員	ライブ配信	1	80	7/25(金)	5/12(月)	6/16(月)	
	19	看取りケア研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員	集合研修	1	80	12/9(火)	9/22(月)	11/3(月)	
	20	口腔ケア研修	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員	集合研修	1	80	7/31(木)	5/12(月)	6/23(月)	
	21	相談援助職のための記録の書き方研修	相談業務に従事している職員、または今後相談業務に就く予定の職員	ライブ配信	1	80	12/3(水)	9/16(火)	10/27(月)	

■開催要綱一覧

▶福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者コース） ー新潟県委託研修ー			
自らのキャリアパスを描き、それぞれの職務段階に応じた能力の向上を目指すとともに、新任職員に求められる役割を遂行していくために必要な基本的事項を習得する。			
対象者	新卒入職後3年以内の職員または、他業種から福祉職場へ入職後3年以内の職員		
日程	第1回 令和7年8月18日(月)・19日(火) 第2回 令和7年10月22日(水)・23日(木) 第3回 令和7年11月19日(水)・20日(木)	会場	第1回 新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 第2回 新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 第3回 燕三条地場産業振興センター リサーチコア 6階 研修室①②
受講料	7,500円	定員	各50名
時間	内容		
【1日目】 9:30~16:40	○福祉職員としてのキャリアデザインと自己管理 ○福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ○対人関係マナーとコミュニケーション		
【2日目】 9:30~16:40	○能力開発・問題解決・リスクマネジメント・多職種連携・運営管理 ○福祉職員として、これから何を大切にし、どのようなことに留意すべきか ○自己イメージ及び課題を明確にし、目標に向けた行動計画を策定する		
講師	全国社会福祉協議会「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者養成研修修了者		
その他	指定の研修テキストを使用します。受講するにあたって事前学習があります。		

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員コース） ー新潟県委託研修ー			
自らのキャリアパスを描き、それぞれの職務段階に応じた能力の向上を目指すとともに、中堅職員に求められる役割を遂行していくために必要な基本的事項を習得する。			
対象者	担当業務の独力遂行が可能なレベルの職員（入職後概ね3～5年程度の節目の職員）		
日程	第1回 令和7年8月5日(火)・6日(水) 第2回 令和7年10月16日(木)・17日(金) 第3回 令和7年11月10日(月)・11日(火)	会場	第1回 新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 第2回 新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 第3回 燕三条地場産業振興センター リサーチコア 6階 研修室①②
受講料	7,500円	定員	各50名
時間	内容		
【1日目】 9:30~16:40	○中堅職員としてのキャリアデザインと自己管理 ○福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ○組織の一員としてのフォロワーシップの醸成 ○チームケアと問題解決		
【2日目】 9:30~16:40	○能力開発・問題解決・リスクマネジメント・多職種連携・運営管理 ○中堅職員として、これから何を大切にし、どのようなことに留意すべきか ○自己イメージ及び課題を明確にし、目標に向けた行動計画を策定する		
講師	全国社会福祉協議会「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者養成研修修了者		
その他	指定の研修テキストを使用します。受講するにあたって事前学習があります。		

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（チームリーダーコース） ー新潟県委託研修ー

自らのキャリアパスを描き、それぞれの職務段階に応じた能力の向上を目指すとともに、チームリーダーに求められる役割を遂行していくために必要な基本的事項を習得する。

対象者	近い将来チームリーダー等の役割を担うことが想定される中堅職員または現に主任・係長等に就いている職員		
日程	第1回 令和7年9月16日(火)・17日(水) 第2回 令和7年10月30日(木)・31日(金) 第3回 令和7年11月25日(火)・26日(水)	会場	第1回 新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室 第2回 新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 第3回 燕三条地場産業振興センター リサーチコア 6階 研修室①②
受講料	7,500円	定員	各50名
時間	内容		
【1日目】 9:30~16:40	<ul style="list-style-type: none"> ○チームリーダーとしてのキャリアデザインと自己管理 ○福祉サービスの基本理念・倫理の基礎を理解する ○OJTの効果的推進、問題解決等会議の効果的な進め方 		
【2日目】 9:30~16:40	<ul style="list-style-type: none"> ○能力開発・問題解決・リスクマネジメント・多職種連携・運営管理 ○福祉職員として、これから何を大切にし、どのようなことに留意すべきか ○自己イメージ及び課題を明確にし、目標に向けた行動計画を策定する 		
講師	全国社会福祉協議会「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」指導者養成研修修了者		
その他	指定の研修テキストを使用します。受講するにあたって事前学習があります。		

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（管理職員コース） ー新潟県委託研修ー

自らのキャリアパスを描き、それぞれの職務段階に応じた能力の向上を目指すとともに、管理職員に求められる役割を遂行していくために必要な基本的事項を習得する。

対象者	近い将来、管理者の役割を担うことが想定される指導的立場の職員または、現に小規模事業管理者・部門管理者等に就いている職員		
日程	令和7年8月27日(水)・28日(木)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	9,500円	定員	50名
時間	内容		
【1日目】 10:00~15:20	<ul style="list-style-type: none"> ○管理職員としてのキャリアデザインと環境整備 ○福祉サービスの基本理念・倫理を徹底する ○組織・部門管理者としてのリーダーシップの醸成 ○利用者本位サービス実現と権利侵害防止に向けた取り組み 		
【2日目】 10:00~15:20	<ul style="list-style-type: none"> ○能力開発、問題解決、リスクマネジメント、多職種連携、運営管理 ○管理職員として、これから何を大切にし、どのようなことに留意すべきかに ○自己イメージ及び課題を明確にし、目標に向けた行動計画を策定する 		
講師	日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 久田 則夫		
その他	指定の研修テキストを使用します。受講するにあたって事前学習があります。		

▶キャリアパス構築・運用

キャリアパス構築支援研修 —新潟県委託研修—

福祉人材の育成・定着を図るためには、給与水準や労働時間などの労働環境の改善とあわせて、職員の資質向上を図るとともに、職員が将来の展望を持って働き続けることができるよう、人材育成理念・能力・資格・経験等に応じたキャリアパスの構築が重要となっています。

本研修は、職員が資質向上を図りながら将来展望を持って働き続けることができるよう、キャリアパスの構築に向けた取り組みや体制づくりについて事例の紹介や演習を通し理解することを目的に開催します。

対象者	人事・人材育成・研修計画を担当する担当者または管理者、今後、人材育成業務に携わることが見込まれる方等		
日程	令和7年11月7日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	3,500円	定員	80名
時間	内容		
10:30~12:00 13:00~16:00	<ul style="list-style-type: none"> ○福祉の人材育成と現状と課題（キャリアパスの基本的理解） ○事業所におけるキャリアパスの構築方法 ○事例から学ぶキャリアパス制度導入の効果 ○人材育成マネジメントによる課題 		
講師	高崎健康福祉大学 健康福祉学部 社会福祉学科 教授 永田 理香		

キャリアパス運用支援研修

キャリアパスを作っただけで、育成や評価・賃金と関連付けて、活かし切れている法人はまだ少ないのではないのでしょうか。職員の士気向上につなげるための評価と処遇のあり方を見直して本来のキャリアパスにしなければ意味がありません。仕事や能力に見合った給与、WLBの充実を望む傾向が強い若手職員が、今後は法人の中心メンバーとなります。キャリアパスという支柱にうまく他の制度を組み合わせ、彼らに答えていけるような安心して働き続けられる魅力ある職場にする必要性が高まっています。本研修は、キャリアパスと他の評価や処遇との結びつけ方だけでなく、今後の中心メンバーとなる若手職員に、どのように対応していくべきかも考えていく研修です。

対象者	人事・総務・労務を担当している職員（施設長、事務長、法人本部職員等）		
日程	令和7年12月1日(月)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
13:30~16:30	<ul style="list-style-type: none"> ○人材マネジメントにおけるキャリアパスの位置づけ ○キャリアパスと他の人事制度の関連づけ ○若手社員の傾向と今後の人事施策に関して 他 		
講師	HRM-LINKS Co.,Ltd. 綱川 晃弘		

▶組織力向上・課題解決

会議ファシリテーション研修

福祉現場において、担当者会議や職員会議など様々な会議や話し合いの場があり、合意形成へ向かうためには場を活性化させるファシリテーション力が求められています。

本研修は、ファシリテーターに必要な基礎的知識・スキルについて、ホワイトボード・ミーティング®を用いて会議が円滑に進行するよう支援促進の技術を身につけることを目的に開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員（主に若手職員～チームリーダー向け）		
日程	令和7年11月17日（月）	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:30～12:00	○ファシリテーションとは ○ファシリテーションのコツ ○ホワイトボードを使った可視化 ○相談・面談の効果的な進め方		
13:00～16:00	○ホワイトボード・ミーティング®で進める支援計画・ケース会議 ○伝わる記録の書き方レッスン ○振り返り		
講師	株式会社ひとまち 代表取締役 ちょん せいこ		

気づく力研修

福祉職場において中堅職員は、自身のスキル向上とチームを円滑に動かす力が求められています。また、利用者のサービス実現に貢献できる力を身に付けなければなりません。

本研修は、中堅職員としての心構え、周りから信頼される職員になるための「気づく力」を身に付けることを目的に開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する中堅職員（職務経験概ね4年以上の職員）		
日程	令和7年9月9日（火）	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:00～12:00	○今、中堅職員に求められること ～人が育つ・職場が変わる気づく力～		
13:00～15:00			
講師	日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 久田 則夫		

チームワーク向上研修

対人援助を行う福祉現場において、個人だけではなくチームとしての対応が求められる場面があります。チームのパフォーマンスを高めるためには、共通の目的を持ち、一人一人がチームの中での自分の役割を理解し、主体性を持って行動することが必要となります。さらに、日頃からメンバーとコミュニケーションを図ることも不可欠です。

本研修では、講義・ワークを通じ、チーム力を高めるためのコミュニケーション手法やチームが抱える課題を解決するための考え方、ファシリテーション手法などを学び、チームワーク向上を図ること目的に開催します。

対象者	職場内において組織をまとめる立場にある職員、または所属長が受講を推薦する職員		
日程	令和7年6月24日（火）	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:30～12:00	○チームリーダーとしてのマインドセットの形成 ○強い組織を作るために必要な3要素（共通目的、貢献意欲、コミュニケーション）を理解し実践する		
13:00～16:00	○チームコミュニケーション力を高める実践手法、チームで課題解決を図るファシリテーション手法		
講師	グローバルマーケティング株式会社 代表取締役 今井 進太郎		

より良い職場づくりのための業務改善研修 ―新潟県委託研修―

人材不足が深刻とされる福祉業界において、数多くある業務を行っていくためには前例踏襲するだけでなく、職員一人一人が業務効率化に向けた「意識」を持ち、実践していくことが必要です。その「意識」を持つためには、様々な業務改善に向けた手法を理解することが必要となります。

本研修は「より良い職場」をつくるため、業務改善に向けた手法や思考法を理解すること、また、現在の仕事内容を見直すことで課題を発見をする力を培い、業務改善の実践につなげていくことを目的に開催します。

対象者	職場内において組織をまとめる立場にある職員、または所属長が受講を推薦する職員		
日程	令和7年7月16日(水)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	3,500円	定員	80名
時間	内容		
10:30～12:00	○業務改善をする目的、業務の可視化の必要性と可視化手法 ○業務改善におけるコミュニケーションの必要性		
13:00～16:00	○業務改善手法ワークショップ、アクションプラン作成		
講師	グローバルマーケティング株式会社 コンサルティング部 コンサルタント 山倉 正稔		

コンフリクトマネジメント研修

職場内では様々な場面で、また、規模の大きさを問わず「対立」「衝突」が存在します。その「対立」「衝突」にはマイナスイメージがつきものです。しかし、その「対立」「衝突」に目を背けずに対応し、双方が納得する着地点を探すことや、その過程で積極的にコミュニケーションを図ることは、新たなアイデアの創造や職場内での信頼関係の構築にもつながっていきます。組織の成長を促すという点からも、コンフリクトマネジメントは近年注目される考え方となっています。

本研修は、コンフリクトマネジメントについて基礎的な部分を理解するとともに、そのスキルを身に付けることで、組織の成長を促していく職員となることを目的として開催します。

対象者	職場内のミーティング等で進行や取りまとめ役を務めることが多い職員（主に中堅職員～管理職員向け）		
日程	令和7年9月22日(月)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
13:30～16:30	調整中		
講師	株式会社あしたの森 社長 林 正海		

リーダーシップ研修

福祉職場において組織を成長させるためには、リーダーシップを発揮し、職員の成長を推進していかなければなりません。本研修は、リーダーとしての使命、取り組まなければならないことなどを講義・演習を通して学び、職場に持ち帰り実際に展開することを目的として開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員（主に中堅職員～管理職員向け）		
日程	令和7年9月2日(火)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:00～12:00	○福祉リーダーの極意 ～揺るぎない福祉のプロを目指して～		
13:00～15:00			
講師	日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 久田 則夫		

カスタマーハラスメント対応研修 ―新潟県委託研修―

利用者やその家族等からの暴言や不当な要求をはじめとするハラスメントは、職員に過度な精神的ストレスを与え、休職や離職につながるなど、職員のみならず法人全体に大きな損失をもたらします。

東京都では、R7年4月より全国初の「カスハラ防止条例」がされるなど、働きやすい職場環境を維持するためには、組織としてカスハラに対する対応方法の策定が不可欠です。

本研修では、法人の体制づくりや対応手順、また事例を通じて加害行為者への対抗措置の実務を学ぶことを目的に開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員（主に入所施設の本部職員・管理者向け）		
日程(配信期間)	令和7年12月4日(木)	開催方法	オンラインによるライブ配信
受講料	3,500円	定員	80名
時間	内容		
13:30~16:30	○カスタマーハラスメントとは？ ○防止法や運営基準による事業者の義務 ○カスタマーハラスメント行為に対抗するための法律の知識 ○カスタマーハラスメントへの対抗策と実務 ○事例による具体的対抗措置の解説		
講師	株式会社 安全な介護 代表取締役 山田 滋		

▶人材育成

福祉職の接遇マナー研修(基礎編) ー新潟県委託研修ー

利用者や利用者家族、また、職員同士や関係者など、福祉職はさまざまな人と接することが多く、職員の対応が施設・事業所のイメージに大きな影響を与えます。相手に安心感を持ってもらうためには、福祉職にふさわしい身だしなみや正しい言葉遣いなど、基本的な接遇マナーを身に付けることが必要です。

本研修は、福祉職において必要な接遇の基本を学び、信頼される職員になるための実務に活かせる技術を、講義や演習を通して身に付けることを目的に開催します。

対象者	職務経験3年以下の新任・若手職員、または所属長が受講を推薦する職員		
日程	第1回 令和7年6月17日(火) 第2回 令和7年10月7日(火)	会場	第1回 新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 第2回 燕三条地場産業振興センター リサーチコア 6階 研修室①②
受講料	3,500円	定員	第1回：80名 第2回：50名
時間	内容		
13:30~16:30	○福祉職としての接遇を理解する ○正しい言葉遣いと話し方・聴き方 ○接遇マナーの実践		
講師	おやなぎ社会福祉士事務所 代表 小柳 縁		

相談面接技術研修(基礎編) ー新潟県委託研修ー

福祉サービスの提供やより良い支援につなげるためには、相談や面接の場面において、援助関係を構築し利用者のおかれている状況を的確に捉え、支援することが求められます。

本研修では、相談援助の基本的な理論と方法について理解・習得することを目的に開催します。

対象者	相談援助業務に従事している職員(3年以下)、または今後相談業務に就く予定の職員		
日程	令和7年9月8日(月)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	3,500円	定員	80名
時間	内容		
13:30~16:30	○相談援助職にとって必要な倫理や、面接に関する基礎的な知識・技術について理解する。 ○演習を通じて、相談援助職として援助関係の構築・クライアント理解に向けての面接を意識できるようになる。		
講師	医療法人社団真結会 こうなんfamilyクリニック 主任相談員 阿部 裕昭		

コミュニケーション力向上研修

利用者や利用者家族、上司や同僚など、対人援助職は多くの人とコミュニケーションを取りながら業務を行うことが求められます。質の高いサービス提供を行うためには高いコミュニケーション能力を身に付け、相手と信頼関係を構築していくことが不可欠です。

本研修は、講義・演習を通し、適切なコミュニケーションを取るために必要な「自己覚知」「他者理解」や、コミュニケーションの基本的な技術やその本質を学び、福祉・介護の現場において必要とされるコミュニケーション能力について、理解・習得することを目的に開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員(主に新任・若手職員~中堅職員向け)		
日程	令和7年6月3日(火)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:30~12:00	○自分を知ること、相手を理解すること		
13:00~16:00	○コミュニケーションの基本		
講師	社会福祉法人新潟南福祉会 特別養護老人ホーム花見の里 園長 砂井 一哉		

伝える力研修

福祉現場では、利用者との間や多職種が働く職場で、自身の考えを正しく理解してもらうための「伝える力」が求められています。わかりやすく伝えるためには、話し方を工夫することや相手のことを理解すること、言葉以外のコミュニケーションスキルを利用するなど様々なコミュニケーション技術を磨いていくことが必要です。

本研修は、講義・演習を通して対人援助に活かすためのコミュニケーション技術を習得することを目的に開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員		
日程	第1回 令和7年10月1日(水) 第2回 令和7年10月15日(水)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	各50名
時間	内容		
10:30~12:30	○コミュニケーションの基本		
13:30~16:00	○コミュニケーション力を高めるためには		
講師	東京工芸大学芸術学部 教授/芸術学部長 大島 武		

エルダー研修 ー新潟県委託研修ー

福祉現場では、人材不足や離職率の高まりなど、人材確保や定着が課題となっています。また、異業種から様々なキャリアを持った人材が福祉業界に入職するケースも増えています。新任職員の身近な指導・相談役としてのエルダーの存在は、職場への適応を促し、早期離職を防ぐ上でその重要性が高まっています。

本研修は、そのエルダーに求められる役割や心構え、新任職員が福祉職としての自覚とやりがいを持って働くことができるよう育成・サポートする方法について理解することを目的に開催します。

対象者	新人職員の育成・指導を担当している職員、または担当予定の職員		
日程	令和7年5月27日(火)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	3,500円	定員	80名
時間	内容		
10:30~12:00	○エルダーの機能と役割について ○OJTの手法に基づく実務指導の方法について		
13:00~16:00	○新任職員の育成計画について ○職場が一体となった職員育成の必要性と、職員同士が高め合える環境づくりについて		
講師	新潟医療福祉大学 心理・福祉学部 社会福祉学科 講師 福田 敏秀		

福祉職のためのトラブル対応研修

対人援助サービスはサービスそれ自体に形がありません。職員による日々の関わり全てがサービスとなり、それらは利用者や利用者家族とのやり取りの中で生み出されて行かれるものです。

本研修は、自身の立ち振る舞いや言動から思わぬトラブルにつながらないように、ご利用者・家族との信頼関係を構築し、円滑に仕事を進めるために必要な基本的な知識を習得し日々の業務に活かすことを目的として開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員（主に若手～中堅職員向け）		
日程	令和7年6月11日(水)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
13:30~16:30	○福祉サービスの特徴から自分達の仕事について考える ○苦情から考えるトラブル対応 ○リスクコミュニケーションの重要性の理解 ○トラブルを起こさないように自分ができること ○まとめ講義		
講師	株式会社エイデル研究所 経営支援部 主任 コンサルタント 川崎 理代		

ティーチング研修

仕事の教え方1つで人間関係は変わり、後輩のモチベーションも変化します。後輩を持つ職員には、後輩職員が自ら考え、行動できる力を育てるために育成・指導を行うことが求められます。

本研修は、職員の強みややる気を引き出し、自主的・主体的な職員の育成を図るため、ティーチングの基本的な考え方やコミュニケーション力向上及びティーチング技術を習得することを目的として開催します。

対象者	部下の指導・助言・支援を行っている職員、または担当予定の職員		
日程	令和7年9月19日(金)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:30~12:00	○指導育成の原理原則(相手理解、育成におけるコミュニケーションのポイント)		
13:00~16:00	○ティーチングの理解、ティーチングの活用スキル		
講師	株式会社きづくネットワーク 代表取締役 武田 義昭		

リーダーコミュニケーション研修

対人援助職は多くの人とコミュニケーションを取りながら業務を行うことが求められます。質の高いサービス提供を行うためには高いコミュニケーション能力を身に付け、相手と信頼関係を構築していくことが不可欠です。

本研修は、リーダーとしての心構えやコミュニケーションスキルを学ぶことで、心理的安全性の高い組織を作ること、さらには組織・個人の成長を促していく職員となることを目的として開催します。

対象者	職場内において組織をまとめる立場にある職員、または所属長が受講を推薦する職員		
日程	令和7年7月18日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
13:30~16:30	調整中		
講師	株式会社あしたの森 社長 林 正海		

コーチング研修

組織の人間関係に不安を持っている職員は多く存在します。仕事の教え方1つで人間関係は変わり、後輩のモチベーションも変化します。後輩を持つ職員には、後輩職員が自ら考え、行動できる力を育てるために育成・指導を行うことが求められます。

本研修は、職員の強みややる気を引き出し、自主的・主体的な職員の育成を図るため、コーチング理論と実践を理解することを目的に実施します。

対象者	部下の指導・助言・支援を行っている職員、または担当予定の職員		
日程	令和7年9月29日(月)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:30~12:00	○コーチングの基本		
13:00~16:00	○コーチングの実践		
講師	シャイニングエッセ株式会社 代表取締役 諸橋 奈々		

▶人材定着

介護職のためのアンガーマネジメント研修

怒りの感情は誰もが持ち合わせているものです。しかし、職場内・利用者などと接する上でコントロールしなければなりません。

本研修は、ご自身の体験を共有しながら感情との付き合い方を学ぶことで「アンガーマネジメント」について理解を深め、自分も周囲の人も大切にしつつ、利用者の権利擁護と専門性を発揮できる職場づくりを目指すことを目的に開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員		
日程	調整中	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:00~12:30	調整中		
講師	調整中		

ストレスマネジメント研修

福祉・介護等の対人援助職は、利用者及び家族支援、その他職場内外の様々な場面で精神的なストレスを受けやすく、適切に対処しないと心身の健康を崩してしまい、福祉サービスの質の低下や職場環境の悪化の原因となります。

本研修は、職員自身がストレス等による心身の不調を防ぐために、ストレスに対する理解を深めセルフケアの方法について理解することを目的に開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員		
日程	令和7年12月12日(金)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大会議室
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:30~12:00	○ストレス及びメンタルヘルスの理解		
13:30~16:30	○ストレスサインや自己特性を知る ○不安やストレスに対するセルフケアやバーンアウトを防ぐ方法		
講師	新潟医療福祉大学 心理・福祉学部 心理健康学科 准教授 松本 京介		

モチベーションマネジメント研修

福祉の現場では、日常業務の多忙さや職場の人間関係、ストレスなどで悩みを抱えることより、モチベーションを維持するのが難しい現実があります。モチベーションの低下は組織の生産性の低下にも繋がり、個人の問題だけでなく組織としてもマネジメントしていく必要があります。

本研修は「やる気の維持・向上力」を理解し、専門職としてモチベーションマネジメント能力を身に付ける考え方と手法を習得することを目的に実施します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員（主に中堅職員～管理職員向け）		
日程	令和7年11月13日(木)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
13:30~16:30	○自己分析を行いリーダーシップやフォロワーシップを図る ○やる気に関するストローク理論、アプローチ方法		
講師	合同会社はなはさく 代表 知野 吉和		

▶専門分野

介護記録の書き方研修

「介護記録」は福祉サービスを提供するうえで非常に大切です。他人が読んでも理解できる記録の書き方が必要となり、しっかりと組織として整備・共有することが求められています。

本研修は、介護記録の基本及び多種多様な場面での記録の仕方について、事例をもとに考えることにより、書くべき記録・観察ポイントを学び、実務に活かすことを目的として開催します。

対象者	介護業務に従事している職員、または今後介護業務に就く予定の職員		
日程	令和7年7月2日(水)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:30~12:00	○介護記録の基本について学ぶ ○事例をもとに記録の仕方を考える		
13:00~15:30	○記録に必要なポイントを振り返る		
講師	株式会社まこじろう福祉事務所 執行取締役 鈴木 真		

認知症ケア・対応研修

超高齢社会の深刻化に伴い、介護現場における認知症患者への対応力向上は、サービスの質の底上げや利用者本人の尊厳の保持に関わる重要な課題です。認知症の方が住み慣れた場所や地域で自分らしく暮らすことができるよう支援するためには、認知症の症状(認知機能障害や行動・心理症状)を適切に理解し対応することが求められます。

本研修は、認知症への理解を深め、ご本人やご家族の視点に立ったケアを提供するために必要な知識や技術を理解し習得することを目的に開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員		
日程	第1回 令和7年7月4日(金) 第2回 令和7年9月26日(金)	会場	第1回 新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室 第2回 長岡市立劇場 3階 大会議室
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	第1回：80名 第2回：60名
時間	内容		
10:30~12:00	○認知症疾患の理解について ○認知症ケアにおけるアセスメントの重要性		
13:00~16:00	○パーソン・センタード・ケアの理念と認知症当事者の声 ○地域で認知症当事者を支えるための取り組み など		
講師	新潟県認知症ケア専門士会 会長 新野 直紀		

介護職のためのフィジカルアセスメント研修

施設や在宅にかかわらず医療ニーズの高い利用者が増加しており、看護職員等の医療職だけでなく利用者 と接する機会が多い介護職員が利用者の心身の状態変化に気づく力が必要となっています。利用者に対する観察力を高めて的確に状態を把握し、チーム内で情報共有を行うことは、より質の高いケアを目指す上で重要です。

本研修は、介護職員が介護現場において、医学的な観点から利用者の生命と生活を支えるために必要なフィジカルアセスメント(身体的評価)技法について理解・習得することを目的に実施します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員		
日程	令和7年7月25日(金)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	時間		
13:30~16:30	○介護現場におけるフィジカルアセスメントの意義とスキルアップ 高齢者のフィジカルアセスメント(身体的特徴と観察ポイント) 医療的ニーズの高い利用者の理解 (尿管や胃ろう、点滴などの仕組み) 事例で考えるフィジカルアセスメントの実際		
講師	一般社団法人MyQOL健幸倶楽部 理事 大澤 智恵子		

看取りケア研修

超高齢化が進む中、最期まで住み慣れた場所や地域で過ごすため、社会福祉施設や在宅での看取り支援が重要になっています。生活の場である施設や在宅における看取りケアは、利用者や家族の意思を尊重しながら多職種連携による実践が求められています。

本研修は、看取りケアの現状と課題、終末期対応や多職種連携、家族へのケアの方法等について理解することを目的に開催します。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員		
日程	令和7年12月9日(火)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
10:30~16:00	○看取りとは ○看取りのための体制作り ○終末期の観察とケアのポイント ○ご家族の支援		
講師	○フリー介護アドバイザー 看護師 大瀧 厚子		

口腔ケア研修

口腔ケアは、肺炎予防や栄養状態の改善、認知機能の維持向上など様々な効果を持つとされ、介護報酬においても、口腔機能向上加算や口腔衛生管理加算などの評価がなされています。

本研修は、口腔ケアの効果や必要性について理解するとともに、口腔ケア・食事介助を安全かつ効果的に実施するための基本を習得することを目的とします。

対象者	社会福祉施設・事業所等に勤務する福祉関係職員		
日程	令和7年7月31日(木)	会場	新潟ユニゾンプラザ 4階 大研修室
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
13:00~16:30	調整中		
講師	新潟大学 歯学部 口腔生命福祉学科 教授 大内 章嗣 新潟大学医歯学総合病院 口腔リハビリテーション科 病院講師 伊藤 加代子		

相談援助職のための記録の書き方研修

福祉サービスの提供やより良い支援につなげるためには、相談や面接の場面において、利用者の意向を的確に捉え、生活状況や生活課題を把握する力が必要となります。

本研修は、安全な福祉サービスを提供するうえで援助職に求められる相談援助記録のあり方や書き方について、活用できる記録方法等を紹介しながら実践的に習得することを目的に開催します。

対象者	相談業務に従事している職員、または今後相談業務に就く予定の職員		
日程	令和7年12月3日(水)	会場	オンラインによるライブ配信
受講料	7,000円 ※県社協会員は5,000円	定員	80名
時間	内容		
13:30~16:30	○援助職に求められる記録とは ○記録に必要とされる要素とは ○問題を解決するための支援記録とは		
講師	アアライ株式会社 代表取締役 八木 亜紀子		

Ⅰ 研修実施方法

研修内容に適った実施方法で提供します。

集合研修

⇒ 講義と演習を組み合わせたより実践的な研修形式

- グループワークや演習を重視します。

< 受講者の声 >

- ・ 同じ空間に集まることで、受講者との相互啓発や横のつながりが広がることにより、モチベーションが向上した。
- ・ 講師の熱量を直接感じることができ、緊張感をもって参加できた。
- ・ ソーシャルディスタンスなど感染対策がしっかりと行き届いていて、安心してワークができた。



オンライン研修（ライブ配信）

⇒ 質疑応答や演習も可能でリアルに近い研修形式

- ウェブ会議アプリ「Zoom」を利用します。
- インターネット環境があれば、講師から直接講義を受けたり、受講者同士ディスカッションをしたりすることが可能です。
- 研修会場に足を運ばなくても参加でき、講師の幅も全国各地に広がります。

< 受講者の声 >

- ・ グループワークを通じた演習があり実践をイメージした学習ができた。
- ・ 発言する機会が多く設けられており、対面での講義と全く遜色なかった。
- ・ 会場に行かなくてもよく、移動時間が削減できた。
- ・ 研修のためのスペースやまとまった時間の確保が不要となりコストを抑えられた。



オンライン研修（収録配信）

⇒ 学習コンテンツや録画した講義映像を視聴する形式

- 研修内容を録画し、クラウド上で配信します。
- 配信期間内であれば、24 時間視聴可能です。

< 受講者の声 >

- ・ 時間の融通が利き、自分のペースで進められた。
- ・ 繰り返し視聴することで、理解が深まった。



Ⅰ 申し込みから受講までの流れ

研修の受講申し込みは、すべて「研修申込システム」から行います。

受講決定等の研修に関する連絡は、kensyuu@fukushiniigata.or.jpからお送りしますので、このメールアドレスが迷惑メール等として処理されないよう設定してください。

事業所登録

・研修申込システムを利用するには、法人・事業所登録が必要です。未登録の場合は、研修センター事務局までご連絡ください。

☞既に登録済みの場合は、「申し込み手続き」に進んでください。

申し込み手続き

・研修申込システムにログインし、受講する研修の申し込みフォームに必要事項をご入力ください。<https://www.fukushiniigata.or.jp/kensyuu/kensyuuc/>
・申し込みフォームを送信すると、「受付確認メール」が自動返信されます。申し込み頂いた研修名や開催日などに間違いがないか必ずご確認ください。

☞受付確認メールが届かないときは…

登録されているメールアドレスに誤りがある場合がありますので、「法人施設登録情報」からご登録のメールアドレスをご確認ください。

受講承認

・申し込みされた研修の受講承認は、申込締切後、10日以内にメールにてお知らせします。メールに記載されたURLから研修の受講承認結果を確認してください。

・なお、研修申込システム上の「社会福祉関係職員研修一覧・申込」からも申込状況等を確認できます。

受講料の支払い

・受講料を受講承認通知に記載の振込期限日までに指定口座にお振り込みください。

・受講料を振り込みの際は、承認通知のメールに添付する「[社会福祉研修受講料振込連絡票](#)」を必ず研修センター事務局にメールまたはFAXしてください。

・一部研修においては、県社協の会員施設・事業所である場合、会員料金が適用されます。研修申込システムの「法人施設登録情報」から「社協会員加入」欄に☑がされているかご確認ください。

研修受講

<集合研修の場合>

・開催要綱に記載された事前課題等を確認し、会場へお越しください。

<オンライン研修の場合>

・研修を申し込みした際の法人・事業所または個人のID・パスワードで研修申込システムにログインし、該当研修の「視聴」ボタンから視聴できます。

☞その他、研修申込システムの使用方法についてはマニュアルをご覧ください。

https://www.fukushiniigata.or.jp/web_manual/manual.pdf

Ⅰ 受講上の留意事項

【全研修共通】

- (1) 研修当日のお申し込みは一切できません。申込締切日までに研修申込システムよりお申し込みください。
- (2) 受講承認後に研修受講日程を変更することはできません。業務都合等で、キャンセル及び受講者を変更する場合は、必ず研修センター事務局へご連絡ください。
- (3) 受講料入金後の返金は原則いたしません。また、他の研修の受講料に振り替えることもできません。
- (4) 宿泊及び昼食については、研修センター事務局では斡旋いたしませんので各自で手配してください。
- (5) 自然災害等により、研修の開催が困難であると判断したときは、中止または日程変更を行う場合があります。その際は、本会ホームページ及びメール等でお知らせします。
- (6) 受講者に関する個人情報、当研修の目的を達成するために必要とする最小限の範囲とし研修事業関連のみの目的で使用します。また、その管理は「県社協個人情報保護規程」に基づき適切に行い、無断で第三者に提供することはありません。

【集合研修】

- (1) 会場内の空調管理に努めますが、空調の体感温度には個人差がありますので、温度調整のできる服装でお越しください。
- (2) 会場（新潟ユニゾンプラザ）の駐車場は、他の催事により混み合い駐車できない場合がありますので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

【オンライン研修（ライブ配信・収録配信）】

- (1) 研修動画の録画・録音及び資料の二次利用、SNS 等への投稿は固くお断りいたします。
- (2) ライブ配信の研修では、「Zoom」というウェブ会議アプリを使用して実施しますので、下記についてご準備ください。
 - パソコン（受講者1名につき1台）
 - ウェブカメラ
 - マイク・ヘッドセット
 - イヤホン（推奨）
 - インターネット環境（有線 LAN での接続推奨）
 - 研修受講に適した環境（個室や会議室など受講者以外の声が入らない環境）
- (3) 接続テストは実施いたしませんので、事前に Zoom の利用環境をご確認ください。
- (4) 受講者側のシステムトラブルや接続の不具合などにより研修に参加できなかった場合や途中の切断・画像音声に乱れが生じた場合、受講料は返金いたしません。また、研修の再配信もいたしませんのでご了承ください。
- (5) 視聴のために使用する URL 等は、研修を受講する方のみ利用可能です。URL 等の再配布は禁止です。

☞ その他研修に関する Q&A は、ホームページをご確認ください。

https://www.fukushinigiata.or.jp/kensyuu/system_qa/

『学ぶ・気づく・描く・変わる』のサイクルによる行動変容！ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程

Career Up !

自らの職業人生の道筋を描き、見通しを持つことは、自己研鑽しつつ働き続けて行くことの意欲を高めるうえで、大きな意味を持ちます。

組織として、職員が中長期にたどる職業人としての成長に向けた適切な進路を仕組みとして整備することは、人材の確保・定着・育成、ひいては、サービスの質の確保・向上を図るうえで、大変重要な組織的課題といえます。

福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程は、こうしたキャリアパスの整備・充実を支援するための研修として実施いたします。



福祉・介護職員の階層ごとに福祉全体に共通する専門性と、チームケアの一員をなすための組織性を学び、また、自身のこれまでのキャリアを振り返りながら、今後のキャリアを主体的に描き、実践するための方法を提供いたします。

「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」の特徴

①福祉の全分野に共通して求められる能力を開発

福祉のどの分野の施設や事業所であっても、どの職種であっても共通して求められる能力を開発する研修です。異なる分野の施設・事業所をもつ法人であっても、共通言語・共通理解をもって職員の育成を進めることができます。

②職員自らがキャリアアップの道筋を描く

福祉職員が自らの歩んできた道を振り返り、また、新たな知識や体験を通して、自らの将来像を描き、職業人生の意味を深め、その価値を高めることをねらいとしています。そのことは職員が働き続けていくうえでの力となり、ひいては、福祉人材の確保・定着や利用者サービスの向上につながります。

③キャリアの各段階に応じて求められる能力・役割を段階的・体系的に学ぶ

初任者から管理職員に至るまで、キャリアの各段階で求められる能力や役割について、全国社会福祉協議会が開発した全国共通のカリキュラムと専用テキストに基づき、段階的・体系的に学ぶことができます。研修修了者には修了証を発行します。

研修の科目構成

基軸科目	●キャリアデザインとセルフマネジメント
基礎科目	●福祉サービスの基本理念と倫理 ●メンバーシップ
啓発科目	●能力開発 ●業務課題の解決と実践研究 ●リスクマネジメント ●チームアプローチと多職種連携・地域協働 ●組織運営管理

問い合わせ先

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 社会福祉研修センター
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
TEL : 025-281-5524 MAIL : kensyuu@fukushiniigata.or.jp




◀ ホームページ・お申し込みはこちら



社会福祉法人 Niigata Zenki Seiwaku Center
新潟県社会福祉協議会

「福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程」の概要


プログラム

自己学習 

①自己学習として、事前にテキストを読み込み、事前課題（事前学習及びプロフィールシート）を作成したうえで面接授業（2日間）に参加します。

面接授業 

②面接授業はグループワークを中心に構成され、受講者同士で交流を深めながら学び合いを主軸として構成しています。

奨励事項 

③面接授業の最後には「私のキャリアデザインシート」を作成し、研修後に上司から本人に対し、励ましやアドバイスなどをコメントしていただく仕組みになっています。

コース

初任者

職務経験3年
以下の職員

中堅職員

職務経験3～5年
程度の職員

チームリーダー

リーダーを担う職員
主任・係長等の職員

管理職員

施設長・管理者等の
職員

対象

内容 (一例)

受講料

チームの一員として
必要なコミュニケーションの
基本を学ぶ

メンバーシップや
チームワークの
あり方を再確認する

職場の問題解決
手法を学び、問題
解決能力を高める

管理職員としての
リーダーシップの
醸成を図る

7,500円

7,500円

7,500円

9,500円

受講者アンケート

👉 受講者の声

👉 受講者の満足度

96%

受講者が「大変満足した」「満足した」と回答。
(令和6年度受講者アンケートより)

👉 事業所の代表者の満足度

95%

受講者の所属長が「本研修課程が人材育成・定着に役立っている」「概ね役に立っている」と回答。
(令和元年度研修受講後アンケート調査より)

初任者に求められる能力や仕事への姿勢などを学びました。自分自身がなぜこの仕事を志したのか改めて考える時間になり、他の方の考えや意見に触れとても良い刺激になりました。(初任者コース受講者)

事前課題やグループワークに取り組む中で、中堅職員としての役割を考え、今のままの姿勢ではいけないのではないかと感じ自分自身と向き合う貴重な機会になりました。(中堅職員コース受講者)

チームリーダーとしての立場を理解し、利用者様への支援について考え実行するだけでなく、職員や施設全体についても目を向けることが、今の自分に足りないと感じられました。(チームリーダーコース受講者)

管理職として何を心掛け・実行に移すべきかを理解できました。研修での学びを自己研鑽で終わるのではなく、職場や法人に還元していきたいです。他の職員にも受講を薦めたいです。(管理職員コース受講者)

令和7年度実施日程

初任者コース

第1回：8月18日-19日
第2回：10月22日-23日
第3回：11月19日-20日

中堅職員コース

第1回：8月5日-6日
第2回：10月16日-17日
第3回：11月10日-11日

チームリーダーコース

第1回：9月16日-17日
第2回：10月30日-31日
第3回：11月25日-26日

管理職員コース

8月27日-28日

※日程は、新型コロナウイルスの感染状況等により変更される場合がありますので、予めご了承願います。
※受講のお申し込みや開催等の詳細は、県社協ホームページにアクセスしてください。

問い合わせ先

社会福祉法人新潟県社会福祉協議会 社会福祉研修センター
〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階
TEL：025-281-5524 MAIL：kensyuu@fukushiniigata.or.jp



◀ ホームページ・お申し込みはこちら



社会福祉法人 Niigata Zenshi Kyokai Center
新潟県社会福祉協議会

令和7年度

社会福祉関係職員研修概要

発行：令和7年3月

発行元：社会福祉法人新潟県社会福祉協議会

社会福祉研修センター

〒950-8575

新潟県新潟市中央区上所2丁目2番2号

電話 025 (281) 5524
